



# 新しい庁舎の建設に向けて

「新庁舎等建設だより」習志野市新庁舎等建設本部発行



年内に新しい市庁舎建設工事を行う事業者（落札者）を決定するために7月に入札公告を開始しました。



## 落札者決定までのスケジュール

平成26年7月2日（水）入札公告

9月17日（水）～24日（水）  
事業者の入札及び技術提案書提出期間

10月21日（火）開札  
落札者の決定  
※低入札価格調査対象の場合は一定の調査期間を設ける。

12月議会  
落札者との契約議案を上程  
可決されると契約が成立します。



新庁舎の外観イメージ

## 新庁舎建設工事の概要

工事名	習志野市新庁舎建設工事		工事場所	千葉県習志野市鷺沼2丁目379番1 <small>（地番表示）</small> ※市役所前グラウンド（旧習志野高校跡地）	
工期	契約日の翌日から平成30年4月30日まで <small>（ただし、技術提案により工期が短縮される場合には、提案された期日まで）</small>				
工事概要	【市庁舎】				
	建築面積	約3,745㎡	延べ面積	約17,890㎡	
	構造	鉄骨造（柱鋼管コンクリート充填工法）等		階数	地上6階、地下1階（GF）
	他、土木作業員詰所建設、外構工事、緑道整備、駐輪場等整備 既存庁舎解体工事（北校舎、体育館、第2分室、第3分室、教育委員会、保健会館別館、仮設倉庫等） ※詳しい情報を知りたい方は裏面Q&A「どのような市庁舎になるの？」に情報提示先をご案内しています。				
予定価格	10,703,880,000円（消費税及び地方消費税を含む）				
低入札価格調査基準額	7,492,716,000円（消費税及び地方消費税を含む）				

# 新庁舎建設工事（入札）に関するQ & A

質問	回答
入札とは何ですか？	入札（にゆうさつ）とは、工事の請負などに際して、契約希望者が複数ある場合、金額などを文書で表示させ、市にとって最も有利な内容を提示した者と契約する方法のことです。 新庁舎建設工事では、入札への参加希望者を一定の要件のもとで広く募集し、入札金額（価格）と価格以外の価値（品質など）を総合的に評価する「一般競争入札総合評価落札方式」を採用しています。
なぜ、総合評価で行うの？	新庁舎建設工事は、防災拠点としての市役所庁舎の設計及び施工に関する高度な技術を有し、品質と価格が総合的に優れた内容で実施することができる者を選定するため、総合評価方式としています。 具体的には価格に加え、ライフサイクルでの施設維持管理コストの縮減、施工中の品質管理及び施工精度、災害時における市役所機能の維持等を評価項目としています。
予定価格とは何ですか？	予定価格とは、市が工事等を発注する際の見込価格（上限価格）のことです。 実際に工事を受注する事業者と契約する金額が予定価格を超える事は無く、新庁舎建設工事では、予定価格10,703,880,000円以下の入札金額を提示した事業者が落札者の対象となります。
低入札価格調査基準額とは何ですか？	予定価格を大幅に下回った入札金額の事業者で決定した場合に、発注者が求めている水準の工事等が履行されないというリスクを避けるために定める一定の基準額のことです。 基準額を下回っても、調査の結果、問題無く工事等が履行されると証明された場合には、その入札金額で契約が行なわれます。
どの様にして事業者を決定するの？	技術提案・実績評価点（100点満点）+入札価格評価点（400点） ＝総合評価点（500点満点）の最も得点が高い入札者を落札者とします。  技術提案・実績評価点（100点満点）は一定の基準に沿って学識経験者等で組織された技術審査委員会の委員が審査します。  入札価格評価点（400点満点）は予定価格以下で、最も低い入札価格を提示した事業者が400点満点となります。  なお、詳しい採点の基準等は市のHP（新庁舎建設工事入札公告のお知らせ）に落札者決定基準として公表しています。
どのような市庁舎になるの？	平成25年度に新しい市庁舎と消防庁舎の基本的な設計を行っています。 詳しくは、市内公民館・図書館に「新しい庁舎の建設に向けて」というチラシを配布しています。また、6月15日号の広報ならしのや市のHPに基本設計の概要を掲載していますのでご覧ください。

お問い合わせ：メールまたはFAXで新庁舎等建設本部  
メール [sintyosya-honbu@city.narashino.lg.jp](mailto:sintyosya-honbu@city.narashino.lg.jp) FAX 047-453-9384